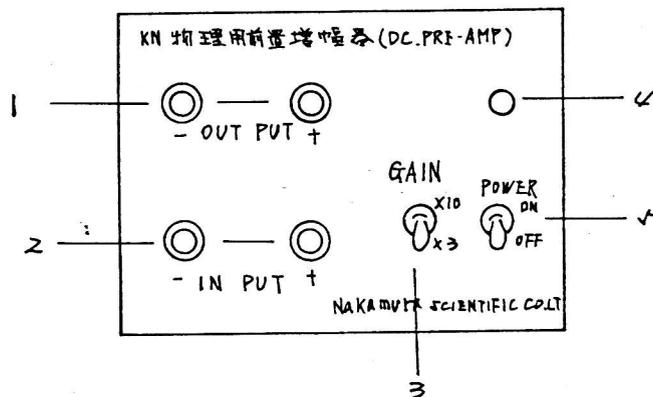


目的

オシロスコープやデジタル計数装置などが動作、観察できるように、外部からの微弱な信号を増幅させるのに使います。

パネル面の説明



1. 出力端子：増幅された信号をとり出す端子で、外部回路（オシロスコープなどの）の入力端子と接続します。
2. 入力端子：外部回路（マイクロホンなど）からの微小信号を加える端子です。
3. ゲイン切換スイッチ：入力端子にかけられる信号を3倍か10倍かに増幅させるための切換えスイッチです。
4. ハイロートランプ：発光ダイオードを使用し、電源スイッチがONになると点灯します。
5. 電源スイッチ：増幅回路用電源のON、OFFスイッチです。

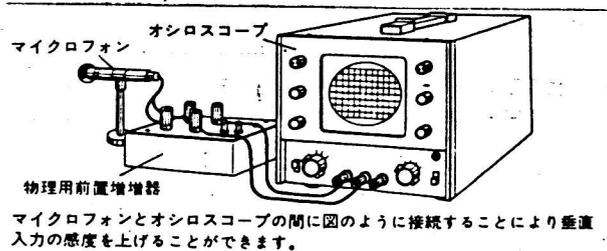
★電池の交換

POWERスイッチをONにしてもハイロートランプが点灯しない、また、フキの悪いときは電池が消耗していますので交換してください。

- パネル面の4つのネジをはずします。
- パネルをとりはずし、内部に固定されている乾電池（006P 9V）2個をとりかえ、交換後は電池をしっかりと固定してください。
- パネルをもとのようにネジでとりつけます。

規格

- 増幅率：3倍（10dB）、10倍（20dB）
 周波数特性：DC～30kHz（-3dB）
 入力インピーダンス：2MΩ、出力インピーダンス：75Ω
 許容入力：0.5V（1kHz・3倍＝1.5V、10倍＝0.5V）
 電源：±9V 2電源（乾電池 006P 9V 2個内蔵）



回路図

